

「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

めざす姿 『希望がかない、選ばれる三重』 ～県内外のさまざまな人から選ばれ、人々の交流が深まり、豊かに暮らすことができる三重～

自然減対策

基本目標

結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重

数値目標

- 1 県の合計特殊出生率をおおむね10年後を目途に1.8台に引き上げる。
- 2 「地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合」を、平成36年度に67.0%まで引き上げる。

社会減対策

基本目標

「学びたい」「働きたい」「暮らし(続け)たい」という希望がかない、みんなが集う活気あふれる三重

数値目標

県外への転出超過数を、毎年280人改善し、5年後には転出超過数を1,600人にまで改善する。

総合戦略の推進にあたっての
県独自の視点

緩和と適応

「三重県らしさ」と
「三重県ならではの」

条件不利地域
への対応

人づくりと
戦略的な広報

アクティブシチズン

ライフステージ1 子ども・思春期

- 1 ライフプラン教育の推進
- 2 子どもの貧困対策
- 3 児童虐待の防止
- 4 社会的養護の推進

ライフステージ2 若者／結婚

- 5 若者の雇用対策
- 6 出逢いの支援

ライフステージ3 妊娠・出産

- 7 不妊に悩む家族への支援
- 8 切れ目のない妊産婦・乳幼児ケアの充実
- 9 周産期医療体制の充実と在宅での療育・療養支援

ライフステージ4 子育て

- 10 保育・放課後児童対策などの子育て家庭の支援
- 11 男性の育児参画の推進
- 12 発達支援が必要な子どもへの対応

ライフシーン1 学ぶ

- 13 若者の県内定着の促進
- 14 子どもの能力の育成と人口減少に対応する教育体制の確保

ライフシーン2 働く

- 15 しごとの創出
- 16 産業人材の育成
- 17 働く場・働き方の質の向上

ライフシーン3 暮らす

- 18 総合的な移住の促進
- 19 暮らしの安全・安心の確保
- 20 いきいきと豊かに暮らせる地域づくり
- 21 地域資源の活用による交流人口の拡大

基盤づくり ～地方創生を推進するうえで、上記自然減対策と社会減対策を下支えする基盤づくりが重要であり、次のような取組を進めます～

- ①地域特性を活かした個性あふれるまちづくり
- ②広域的な交通基盤などの社会資本整備と次世代を見据えた交通基盤の構築
- ③大規模災害に備えた防災・減災対策
- ④公共施設等の効果的・効率的な維持管理

平成28年度の主な事業(1)

子どもの貧困対策推進事業(1,354千円)
一人親家庭自立支援事業(157,171千円)

子ども・思春期

【目的】

「三重県子どもの貧困対策計画」に基づき、子どもの貧困対策の推進を図るため、子どもの貧困対策の好事例の収集や情報共有を行い、県、市町、関係団体等の連携を深め、各地域の実情に応じた多様な支援体制の整備や機運醸成を図る。

また、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、資格取得をめざすひとり親家庭の親に対する経済的な支援を行う。

【具体的な事業内容】

- ・子どもの貧困対策推進会議の設置
- ・ひとり親家庭の親に対する高等職業訓練促進給付金の支給、入学準備金・就職準備金の貸付



児童養護施設における学習支援

若年者正規雇用安定事業(34,657千円)
みえの出逢い支援事業(25,017千円)

若者／結婚

【目的】

企業と若者の交流の場づくりや企業の魅力発信支援等に取り組むとともに、県内企業のトライアル雇用を支援し、安定した雇用による若者の経済的な基盤の確立をめざす。

また、「みえ出逢いサポートセンター」により、出逢いの場等の情報提供や、結婚等に関するポジティブなイメージの情報発信を進め、社会全体で結婚を応援する機運を醸成し、結婚を望む人が結婚できる地域社会の実現をめざす。

【具体的な事業内容】

- ・就職のミスマッチの解消に向けた企業と若者の交流の場づくり
- ・プロフェッショナル人材のトライアル雇用を実施する企業への補助
- ・結婚を望む人への出逢いの場等の情報提供
- ・クロスメディアを活用した結婚ポジティブキャンペーンの実施



出産・育児まるっとサポートみえ推進事業(8,206千円)

妊娠・出産

【目的】

「出産・育児まるっとサポートみえ」(三重県版ネウボラ)の推進により、各市町の実情に応じた母子保健体制を整備するため、母子保健活動の核となる人材の育成、妊娠届出時アンケートの評価等を通じた関係機関との連携強化、母子保健体制構築アドバイザーによる各市町の現状分析や情報提供等を通じて、市町を支援する。

【具体的な事業内容】

- ・母子保健コーディネーター研修の開催
- ・妊娠届出時アンケートの評価会議の開催
- ・母子保健体制構築アドバイザーによる市町訪問



男性の育児参画普及啓発事業(4,784千円)

子育て

【目的】

「みえの育児男子プロジェクト」として、男性の育児参画の普及啓発や男性同士の交流の機会の提供に加え、イクボスを推進する企業の取組を支援するとともに、親子での自然体験を通じて子育ての魅力を発信する。

【具体的な事業内容】

- ・第3回「ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ」の開催
- ・イクボス養成講座に対する講師派遣
- ・「みえの育児男子 親子キャンプ」の実施



地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業(4,309千円)
高等教育機関における地方創生に向けた取組支援事業(県版COC)

学ぶ

【目的】

大学生等を対象とした奨学金の返還額の一部を助成する制度の創設等に取り組み、県内の若者が進学・就職する際の県内定着を促進する。

また、県内の若者が進学および就職する際に、県内を選択してもらえるよう、県内高等教育機関の魅力向上・充実の取組を支援する。

【具体的な事業内容】

- ・県内の南部地域等条件不利地域に居住すること等を条件に、大学生等の奨学金の返還額の一部を助成する制度の創設
- ・学生確保や学生の県内への定着等に取り組む県内高等教育機関に対する助成



専攻科設置準備事業(73,895千円)
みえの担い手育成推進事業(58,427千円)

学ぶ

【目的】

県内の工業高校が持つポテンシャルを活かしつつ、一層高度なものづくり教育を行う魅力的な教育環境を整備するため、北勢地域に工業高校の専攻科を設置し、学びの選択肢の拡大を図る。

また、地域社会に参画する能力と態度を備え、将来地域社会で活躍しようとする意欲のある児童生徒を育成するとともに、新規高等学校卒業者が就職した職場に定着できるよう支援する。

【具体的な事業内容】

- ・専攻科設置のための学習施設・実習設備の整備、教育課程の検討、産業界との連携のための企業訪問
- ・組織的・系統的なキャリア教育の充実や地域の魅力ある職場や仕事等を知る機会の創出、外部人材を活用した就職支援・職場定着支援



平成28年度の主な事業(2)

経営向上支援事業(34,121千円)

沖縄国際物流ハブを活用した三重県産品輸出促進事業(22,273千円)

働く

【目的】

三重県独自の「三重県版経営向上計画認定制度」を通じて、県内中小企業・小規模企業の経営の向上に対する取組を促進するとともに、中小企業・小規模企業の挑戦を後押しする。

また、沖縄国際物流ハブ機能を活用し、三重県産品のアジア市場への展開を促進するため、全国で唯一、県内から那覇空港までの輸送費を支援する三重県独自の制度を展開する。

【具体的な事業内容】

- ・三重県版経営向上計画の作成支援、フォローアップなどを行う三重県独自の地域インストラクターの配置
- ・沖縄国際物流ハブを活用して輸出する事業者に対して、三重県内～沖縄国際物流ハブまでの国内輸送費の1/2以内を助成



観光の産業化推進委員会負担金(111,018千円)

働く

【目的】

観光関連産業を裾野の広い産業と捉え、「食」を中心としたサービス産業など多様な産業と連携した展開を図るとともに、観光関連産業を、地域を牽引する産業として育成することで、「観光の産業化」を推進し、来訪者の観光消費額の増加(三重の観光の「質」を高めること)につなげる。また、「日本版DMO」の創設を支援し、「観光地経営」の視点に立った持続可能な観光地域づくりを県内各地に展開する。

【具体的な事業内容】

- ・「みえの“食旅”パスポート」の実施及びパスポートデータの活用
- ・「日本版DMO」候補法人への登録に向けた取組及び県内各地への横展開



移住促進情報発信拠点運営事業(29,518千円)

移住促進のための市町支援事業(3,091千円)

暮らす

【目的】

首都圏における移住相談窓口の運営や、関西圏における相談体制の充実により、移住に必要なさまざまな情報を提供・発信するほか、相談にワンストップできめ細やかに対応するとともに、市町における移住者の受け入れのための体制づくりを支援し、三重県への移住を促進する。

【具体的な事業内容】

- ・ええとこやんか三重移住相談センター(首都圏)の運営:常駐の相談員(移住相談、就職相談)によるきめ細やかな相談対応
- ・大阪ふるさと暮らし情報センター(関西圏)への出展:三重県の情報発信、拠点の設置 移住相談デスクの設置(月1回)
- ・市町の移住促進のための研修会の開催、オール三重での情報発信(全国フェア)



中山間地域農業を起点とした雇用創出プロジェクト事業(24,700千円)

首都圏と海外への伊勢茶ブランド展開推進事業(8,888千円)

働く

【目的】

地域資源を活用した雇用創出および農村生活サポートサービスの実践に取り組む地域のプロジェクトを支援することで、中山間地域農業を起点とした雇用モデルの創出を図る。

また、首都圏でのPR活動、海外におけるマーケット調査やプロモーション活動を展開し、伊勢茶(「ISE-CHAJ」)の知名度向上と販路開拓を図る。

【具体的な事業内容】

- ・地域資源を活用した新たなビジネスの展開や国内外への販路開拓等に取り組む農業法人等に対する支援、農村生活サポートサービス実践に取り組む地域住民等のプロジェクト活動に対する支援
- ・伊勢茶(「ISE-CHAJ」)の首都圏でのPR活動、海外(米国)におけるマーケット調査やプロモーション活動の展開



ワーク・ライフ・バランス推進サポート事業(3,964千円)

働く

【目的】

働き方を見直し、長時間労働を抑制するなど働く場の質の向上を図ることで、企業の魅力を高め、人材を確保し、地方創生につなげられるよう、専門家派遣による個別サポート等により、企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組を促進する。

【具体的な事業内容】

- ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む意欲のある企業に対して専門家を派遣し、社内の意識改革や課題の抽出、その解決策等の助言を実施
- ・取組事例の紹介のほか、取組企業との意見交換等を行う全体報告会の開催



広聴広報アクションプラン推進事業(58,830千円)

暮らす

【目的】

「三重県広聴広報アクションプラン」に基づき、県民の皆さんの視点に立った質の高い情報発信や、プロモーション活動を効果的に展開していくため、外部専門家のノウハウを活用した戦略的な広聴広報活動に取り組み、本県の知名度・認知度の向上とイメージアップを図る。

【具体的な事業内容】

- ・戦略広報アドバイザーの配置等による外部専門家のノウハウを活用した、情報発信のクオリティコントロールの実現
- ・プロモーション動画の制作、全国放送番組とのタイアップ
- ・プロモーション用ポータルサイトの構築

